

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	「つきの樹の事業所理念」を掲げている。開設前から職員でビジョンについて話し合い、認知症緩和、地域交流を実践している。コロナ禍での開設であるも、新しい交流方法を模索し、季節を感じる行事も毎月行っている。			直接見ているわけではないが、理念をもって実践することが大切だと思う。
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	近隣の商店に、入居者と一緒に行物へ行き、顔見知りの関係を築いている。また、入居者には、選ぶ楽しみを感じていただいている。			人と人とのつながりを大切に、それに向けて努力している姿が見える。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	隣接する小規模多機能けやきの郷と合同にて2ヶ月に1回、運営推進委員と家族に活動内容を報告し、意見をもらい議事録を作成している。感染対策や面会、事故防止対策等について助言をもらい、サービス向上に活かすように取り組んでいる。			会議の中身を活かし活用していくことを考え実践してほしい。
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	市の介護保険課と、利用者の相談や事故報告のやりとりをしている中で、助言やアドバイスをもらい運営に活かしている。			
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	法人内の研修で定期的に学ぶ機会がある。拘束以外の方法を常に検討し安易に拘束しないケアに努めている。外に出たい希望があれば、職員付き添いのもと対応している。	施錠はしていないのか。している所もあるが、していないのは珍しいと思う。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	難しい時もあると思うが、思いやりの気持ちをもって対応することが大切ではないかと思う。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	法人内の研修で定期的に学ぶ機会がある。虐待の目チェックリストを活用し、不適切ケアについて検討することにより意識づけを行っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	あつてはならないこと。取り組みから大丈夫だと思っている。

7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	成年後見制度・日常生活自立支援事業について研修で触れている。実際に活用する対象者が身近にいないこともあり実践はないが、全職員が権利擁護に関する内部研修を受けている。			研修を継続していくことが大事だと思う。
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約の際時間をかけて、疑問や不安が残らないように説明を行っている。また、改定などの際は文章を交付し、承諾を得ている。不安や疑問は相談しやすい関係作りを行っている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	来訪時や連絡があった際に積極的に声掛けや意見・要望を引き出せるよう努めている。また、入居者懇談会を実施し、職員も入居者の意見や要望を日常的に聴くように努めている。	スタッフ全員が、面会などで家族が来所時に様子を伝えるよう心がけている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その場に出会っていないが、充分にできていると感じる。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月全体ミーティングを行い、意見交換の場を設けている。日常的にも現場の意見を聞き、適時面談を行い、意見や提案を聞く機会を作っている。毎朝、合同での申し送り時に意見交換を行っている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎年個別に目標設定・面談を行っている。外部研修参加や資格取得に関するフォロー体制づくりを行っている。休憩やシフト、業務改善の為に個々の意見を聞き取り反映させ、働きやすい環境作りに努めている。	どこも職員が不足しているが、職員は足りているか。開設準備研修から離職がなく、同じメンバーで就業できている。入れ替わりがないと、相手のこともわかりやすく、忙しい時もチームワークで乗り切ってきた。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	全員がパーフェクトは難しいが、少しずつ近づける努力が大切だと思う。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内での研修、フォローアップ研修、役職ごとの研修などさまざまな研修を設けている。また、外部研修や資格取得等、情報共有し、機会の確保、参加する職員のシフト調整等を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	前向きに取り組んでほしい。

13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議、地域密着型会議に参加し意見交換を行っている。管理者以外の職員は、実践者研修や地域の勉強会へ参加し交流する機会となっている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一方的な介護をするのではなく、家事や自室の掃除など、その方に出来る事を見つけ行ってもらいながら、一緒に生活するという目線で支援を行っている。			大変だと思うが、大切な事。取り組んでほしい。
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染の流行っている時期は面会を一定期間ストップした。世間の様子にあわせながら、入居者の知人や家族の来所や電話にはできる限り対応し、関係が途切れないための支援を行っている。	月ごとの面会者数を運営推進会議で報告している。面会をストップした時期は短期間であったが、入居者の様子を見て事業所から面会をお願いして会いに来てもらうこともあった。		個別の支援ができていない様子がかえる。
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人や、ご家族から面会時に意見や情報をいただき、普段の関わりの中で趣味や趣向を引き出してご本人の希望に添えるように努めている。また、困難な時はミーティングでの話し合いを行い、本人本位に検討を行っている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人とのかかわりの中で気づきや、ご家族、訪問診療などの医療連携での話し合いにより、現状に即した介護計画を作成している。プラン更新時には、ミーティングにてスタッフの意見も聞き取り入れている。	不穏時の対応として、アレクサを活用し遠方の家族とも顔をみて離せる機会、提案をした。3名が導入している。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個別支援になっている。前向きに考え取り組んでいる。継続していくことが大切である。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個別の介護記録では、サービスの提供内容だけではなく、様子や発言、状況などを細かく記録する事で、職員間で情報共有出来るよう努めている。介護計画の見直しは、これからである。	記録に関して、ほのぼのシステムを導入しているのであれば、音声入力を活用してはどうか。外国人スタッフにも良い。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	大切なことは理解しているのだが、限られた時間の中で行うことは難しい。

19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時から状況が変われば、その都度、スタッフだけではなく医療関係・福祉用具等の提供機関に相談しながら、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。			
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	隣接する小規模多機能型居宅介護事業所と協力しながら、地域行事への参加や消防訓練で地域の防災士との交流から、地域のマンパワーを利用できるように配慮している。			
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	かかりつけ医や、医療機関を選択していただいている。また、かかりつけ医とは、診療前の情報提供、日々の報告、相談、必要時の家族と主治医の面談など調整を行っている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時病院へ情報提供を行い、入院情報は往診医や看護師、家族と共有し、スムーズな退院へ向け取り組んでいる	往診医や薬局とこまめにラインでやりとりができる。気軽に質問出来る。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	命にかかわること。継続してほしい。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時に看取り指針を説明し、同意をいただいている。早めの段階から終末期について家族で話しておくことを勧めている。実際にその時期になれば早い段階から医療機関や家族、施設などで看取りの方針を決め、家族の希望に添える援助が出来るようにしていきたい。	事業所が新しいため看取りを経験していないが、マニュアルを使い勉強会を行った。契約時に家族と看取りの話が充分にできているので、実践はなくとも「できている」で良いと思う。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	それぞれの家族によって想いが違い評価が難しい問題だが、しっかり話し合うことが大切だと思う。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	急変や事故発生時に対する法人内の研修やミーティング等で検討を行い、実践力向上に努めている。	喉つめの研修を法人で繰り返し練習している。他事業所であった事故を共有し、当事者意識をもって再発防止に努めている。		充分に行えるよう繰り返し学び、実践してほしい。
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年に2回、隣接する事業所と地域の防災チームと合同にて昼間・夜間想定での消防訓練実施し、誘導や行動について振り返りを行っている。災		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自治会も災害について備えている。また訓練も行っている。協力できるところは進めていきたい。

				害備蓄品は本部管理のもと常備している。			
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入職時研修を初め、施設内研修として接遇研修を行い、学び気づく機会を持っている。不適切な対応があれば注意しあい、より良い接遇などに努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	様々な人がいるため、難しい所もあると思うが、相手の気持ちを理解するという姿勢で取り組んでほしい。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	可能な限り、その方に合わせたペースでのケアが出来るように心がけて居る。決まった一日の流れを強要せず、臥床時間や入浴等、ご本人の意思や体調に合わせて支援している。	本人に寄り添いながら生活リズムを整える部分は、時には本人のペースと違う時もある。		
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の食事に加え、おやつ作りのレクリエーションや出前をとるなど、楽しめる食事の提供に努めている。食事の準備や片付けは、入居者の方にも行ってもらっている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食べるという事は一番大事と考える。それを理解行動することが大切だと思う。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	3食と、ティータイム、おやつ以外にも必要に応じてご家族にも協力していただき、その方に合わせた必要な物の提供を行っている。食事や水分量に関しては、医師や看護師とも相談している。	家族に協力いただいている物を具体的にあげる。毎日、アイスやみかんを食べていた人には、個別でほしい物を協力頂いた。間食は、血糖問題な方は好きな時に食べてもらっている。		
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の口腔ケアに加えて、定期的に訪問歯科診療を受け、歯科衛生士による口腔ケアの助言と指導を受けている。本人の口腔状態に適したケアを行っている。	当初、職員間でも口腔ケアに力を入れていることに驚いていた。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	このようなきめ細かいケアが大切だと思う。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄チェックや記録を参考にし、個人の排泄パターンを考慮した上で自立支援に向けたケアを支援している。2名が紙パンツから布パンツに移行することができた。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄の管理は大変なことだと思う。頑張ってください。

32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	曜日の設定はあるが、体調や気分によって時間や曜日の変更を行う等、出来るだけ個々に合わせた支援に努めている。季節に合わせてゆず湯やしょうぶ湯など楽しみに配慮している。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の生活リズムに合わせて就寝していただいている。照明器具や室温などに配慮しながら個々の状況に合わせた支援を行っている。不眠防止の為、日光浴も積極的に行っている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医師や薬剤師に質問や確認を行いながら、服薬支援を行っている。飲み忘れや誤薬などは職員間で話し合い薬局とも協力して、工夫している。	誤薬防止の工夫を重ねている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	チェックは少なくとも1回以上行うようにすべきだと思う。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家事活動や挨拶、園芸、制作、個別の外出等、様々な活動を通じて実施し個々に合わせた役割支援、買い物などの楽しみごとの支援を行っている。	外出時に混雑をさけるため、開店時間を狙って他のお客さんとの接点を少なくするようにこころがけた。少人数で出かけ、予約できる場所は予約したり、お店の人に空いている時間と曜日を聞いたり混雑を避けるようにした。		どんどん支援してほしい。
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	気軽に外出出来ていない。施設周辺のお散歩や隣のコンビニへの買い物、人ごみを避けての買い物やドライブなどは頻繁に行っている。			
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	基本的に金庫での管理だが、預り金の中でご家族と相談しながら自由に使えるお金の使用や管理を支援している。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	届いた手紙の返信や電話対応の支援を行っている。Wi-Fi環境を整えており、アレクサの導入をしている方には、家族や知人との交流を支援している。	暑中見舞いなど全員で取り組んだが個人の手紙のやりとりの支援は難しい。アレクサなどは活用している。		できなかった原因を追求し、次回に生かしてほしい。

39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	なじみのある音楽をかけ心地よく過ごせる工夫をしている。空気清浄機やエアコン、加湿器の使用で快適な空間づくりを行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	できる限り快適に過ごせるように整備していけば良いと思います。
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	住み慣れた家で家族と過ごすことが望んでいる入居者もおられるが、つきの樹での暮らし方を支援していきたい。			なかなか難しいことは理解できる。
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時前の情報をもとに、生活歴や友人関係の情報を収集し、面会時に来所者とコミュニケーションをとるよう努めている。その知り得た情報共有し、ケア・支援に生かしている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. ①十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医師・看護師・理学療法士と日々の状況を共有し、ケア・支援内容を話し合っている。		A. ①十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日健康的な生活ができているように思う。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日の長距離散歩や、趣味のグッズを持ち込まれていない方など、ひとりの時間を有効に使えるように、支援していきたい。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. ①十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自室に個々の家具を持ち込まれ、壁面に写真などを飾って、過ごしやすい空間で生活されている。		A. ①十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生き甲斐のある人生を送るために大切なことだと思う。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. ①十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	希望に沿えるように、外出の希望があった時には個別に、相談を受け対応している。			

46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <input checked="" type="radio"/> あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の関りから、ご本人が出来ることを見つけ、季節の行事や、制作を行うことを支援している。				
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員が関りを深め、信頼関係を築き、個々の能力を見極めいきいきと過ごせるように支援している。			<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々に関わったり、交流することができている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染症が収束していない中でも、形をかえ、地域の人との交流を行っている。	外出後の対応は、感染防止の為、食事の席を分けて対応し、3日間健康チェックをしている。		家族との面会の機会を上げてほしいと思います。	
49	総合	本人は、このGHにいて、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	近くに住む家族に見守られながら、住宅街の真ん中にある好立地での施設で、安心した生活が送れるように支援している。			<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	好立地なこともあるが、家族との良い関係が築けている。続けていってほしい。